西区やまなみハイキングルート
＆鈴ヶ峰〜武田山縦走コース

広島市西部里山ハイキングマップ

大茶臼山からの展望

広島市の西部、西区・安佐南区・佐伯区に連なる里山は春夏秋冬を通して気軽に楽しめるハイキングコースとして魅力がいっぱいです。

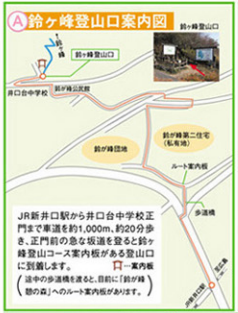
鈴ヶ峰山頂

武田山からの展望

平成25年2月　発行
協力団体／西区やまなみの会・武田山関連団体連絡会　発行／西区地域起こし推進課

登山口案内図

Ⓐ鈴ヶ峰登山口案内図

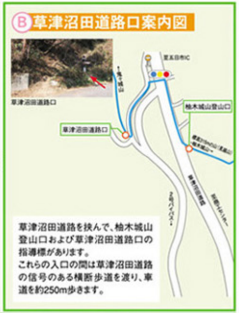

鈴ヶ峰登山口
↑鈴ヶ峰
鈴ヶ峰登山口
井口台中学校
鈴が峰公民館
鈴が峰団地
鈴が峰第二住宅（私有地）
ルート案内板
歩道橋
JR新井口駅
至広島

JR新井口駅から井口台中学校正門まで車道を約1,000m、約20分歩き、正門前の急な坂道を登ると鈴ヶ峰登山コース案内板がある登山口に到着します。

（途中の歩道橋を渡ると、目前に「鈴が峰憩の森」へのルート案内板があります。）

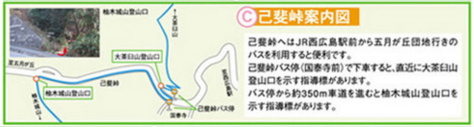
⛩…案内板

Ⓑ草津沼田道路口案内図


草津沼田道路口
至五日市IC
↑鬼ヶ城山
柚木城山登山口
草津沼田道路口
標高315mの山（見越山）・柚木城山→
草津沼田道路
2号バイパス
至商工センター

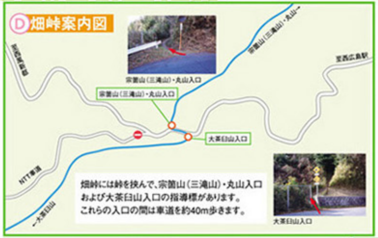
草津沼田道路を挟んで、柚木城山登山口および草津沼田道路口の指導標があります。
これらの入口の間は草津沼田道路の信号のある横断歩道を渡り、車道を約250m歩きます。

Ⓒ己斐峠案内図


柚木城山登山口
↑大茶臼山
大茶臼山登山口
至五月が丘
己斐峠
柚木城山登山口
柚木城山→
己斐峠バス停
国泰寺
至西広島駅

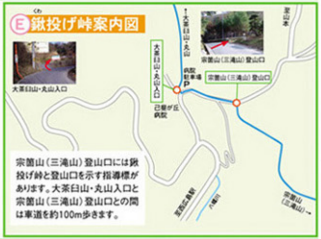
己斐峠へはJR西広島駅前から五月が丘団地行きのバスを利用すると便利です。
己斐峠バス停（国泰寺前）で下車すると、直近に大茶臼山登山口を示す指導標があります。
バス停から約350m車道を進むと柚木城山登山口を示す指導標があります。

Ⓓ畑峠案内図


宗箇山（三滝山）・丸山入口
宗箇山（三滝山）・丸山→
宗箇山（三滝山）・丸山入口
至西風新都
至西広島駅
大茶臼山入口
NTT事道
←大茶臼山
大茶臼山入口

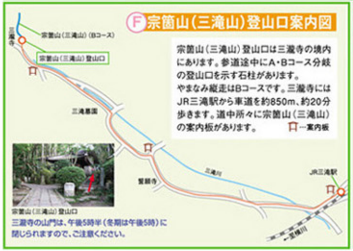
畑峠には峠を挟んで、宗箇山（三滝山）・丸山入口および大茶臼山入口の指導標があります。
これらの入口の間は車道を約40m歩きます。

Ⓔ鍬（くわ）投げ峠案内図


↑大茶臼山・丸山
大茶臼山・丸山入口
宗箇山（三滝山）登山口
病院駐車場
P
宗箇山（三滝山）登山口
大茶臼山・丸山入口
己斐が丘病院
至山本
至西広島駅
八幡川
宗箇山（三滝山）→

宗箇山（三滝山）登山口には鍬投げ峠と登山口を示す指導標があります。大茶臼山・丸山入口と宗箇山（三滝山）登山口との間は車道を約100m歩きます。

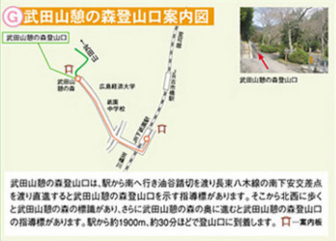
Ⓕ宗箇山（三滝山）登山口案内図


三瀧寺
宗箇山（三滝山）（Bコース）
宗箇山（三滝山）登山口
三滝墓園
三滝川
誓願寺
JR三滝駅
←至横川
宗箇山（三滝山）登山口

宗箇山（三滝山）登山口は三瀧寺の境内にあります。参道途中にA・Bコース分岐の登山口を示す石柱があります。
やまなみ縦走はBコースです。三瀧寺にはJR三滝駅から車道を約850m、約20分歩きます。道中所々に宗箇山（三滝山）の案内板があります。⛩…案内板

三瀧寺の山門は、午後5時半（冬期は午後5時）に閉じられますので、ご注意ください。

Ⓖ武田山憩の森登山口案内図


武田山憩の森登山口
←武田山
武田山憩の森
広島経済大学
祇園中学校
至可部
JR下祇園駅
至横川
長束八木線
武田山憩の森登山口

武田山憩の森登山口は、駅から南へ行き油谷踏切を渡り長束八木線の南下安交差点を渡り直進すると武田山憩の森登山口を示す指導標があります。そこから北西に歩くと武田山憩の森の標識があり、さらに武田山憩の森の奥に進むと武田山憩の森登山口の指導標があります。駅から約1900m、約30分ほどで登山口に到着します。⛩…案内板

見どころ紹介

イ 被爆桜（鈴ヶ峰頂上直下）

「被爆桜」が頂上直下の南斜面で開花時期にはハイカーを楽しませています。
公園協会（現在の広島市みどり生きもの協会）提供の苗木を平成18年（2006年）2月に西区やまなみの会が平和を願って植樹（9本）を行ったものです。
山登りをされる地元有志の方の協力（水やりなど）もあって順調に育っています。

ロ「鈴峰」石碑

石碑は、高さ1.7m、幅1.5m、重さ1.7トン。刻まれた「鈴峰」は、広島藩最後の藩主、浅野長勲（あさのながこと）公の揮毫（きごう）と記されています。
地域の安全を願い、明治31年（1898年）に建立されました。
芸予地震（平成13年（2001年）3月）で台座から落下したままになっていたものが地元の人たちによって平成24年（2012年）10月に復元されました。

ハ 道行地蔵（みちゆきじぞう）

今から約300年頃の浅野藩四代の時代に造像されたお地蔵様だそうです。当時、人馬が往来していた峠道で逆上した武士が母子をあやめたそうです。その後に峠付近で「子供を探す」女性の亡霊が出没しました。不憫に思った村人が浄財を投じてお地蔵様を道々に建立したところ、亡霊は出なくなったと伝えられています。美鈴が丘団地造成のとき、点在していたお地蔵様を一か所に集めて、有志の方々が協力して祠を建立しました。供養は今も続いています。（参考　道行地蔵由来）

ニ 鬼ヶ城山の八畳（ちょう）岩

この岩の表面には「天狗の足跡」と呼ばれる数個の窪みがあり、磐座（イワクラ）と思われます。
鬼ヶ城山山頂の東斜面を少し下ったところに小八畳岩がこのたび確認できました。
伝説によると二枚の岩は一枚でしたが、あるとき地震で半分に割れ、半分が落下して小八畳岩になったそうです。（参考　日本書紀　廣島史跡伝説）

ホ 標高315mの山（見越山（みこしやま））

山頂から柚木城山に向って400mぐらい行くと、山田側から己斐（もみじが丘団地）に下る道が交差しています。見越とはこの交差する所（峠）を呼んだもので、山田側からの道が尾根（嶺）を越す意から峰越し（ミネコシ）と呼び、ネが略されてミコシとなり「見越」の字が当てられました。見越山の名前は、この峠の名前にちなんで付けられたようです。
（参考　ふるた公民館だより（平成22年5月号）「古田管見」）

ヘ 曹洞宗国泰寺（こくたいじ）

昭和53年（1978年）中区中町より己斐に移りました。もとは広島宝仙寺。1590年代に改築され臨済宗安国寺としました。関ヶ原合戦後、福島正則が広島入城のとき尾張の雲興寺普照（正則の弟）を招き、安国寺を国泰寺と改め曹洞宗としました。福島正則改易後、浅野長晟が広島に入府し、その後に浅野家菩提寺としました。
この寺には赤穂浪士で有名な大石内蔵助の妻（りく）と子供（代三郎）の墓があります。

ト 大茶臼山の立石（たていし）城跡

頂上近くの展望岩に室町時代の山城「立石城」があったと伝えられています。
岩の頭が人工的に平らに整えられて櫓（やぐら）を組むのに適した平岩や岩と岩との間には人間一人が歩ける通路（武者走り）が見られます。
このことから、立石城は砦城であったと考えられ、近隣に展望とにらみを利かせていたことでしょう。
（参考　広島近郊の山城と史跡より：武田信彦氏）

チ 鍬投げ峠（くわなげとうげ）

己斐の最奥地の真北の峠です。
その昔、己斐村（現在の西区）と山本村（同安佐南区）とが村の境界をめぐって争いがありました。
このとき、鍬を投げて落ちたところを村境にしたことから、この名がついたそうです。
（参考　己斐上史跡社寺散策）

リ 宗箇松（そうこまつ）

この松は、江戸時代の広島藩主浅野家家老で茶人でもあった上田重安（号を宗箇）が、広島城近くの自身の茶室から眺めるために宗箇山（三滝山）の山頂にアカマツを植えたと伝えられています。
現在の松は四代目で、平成10年（1998年）に植栽されたものです。

ヌ 三瀧寺（みたきでら）

多くの人たちに"三滝の観音さん"として親しまれており、境内にはその由来となっている三つの滝の瀬音が響き、本堂までの参道に沿って摩崖仏観音像や小さな石仏などが並んでいます。初夏の青もみじや秋の紅葉は殊に美しく、深山幽谷の趣きが深く人々の心を和らげ、訪れる人たちには憩いの場となっています。

ル 武田山及び銀山（かなやま）城跡

山の名は、鎌倉・室町時代に安芸国の守護であった武田氏にちなんだものといわれ、その本拠・銀山（金山）城が築かれていた頂上一帯（海抜250m以上）は、県史跡の指定を受けています。登山道沿いには「馬返し」「御守岩台」（ごしゅいわだい）といった数多くの郭（くるわ）や、「御門跡」などが点在し、安芸国内の中世山城では最大級の規模を誇っていたことがわかります。

おすすめビュ〜ポイント

地図中にある、このマークからの眺めは特におすすめです！

鈴ヶ峰からの展望

鬼ヶ城山からの展望

標高315mの山（見越山）からの展望

大茶臼山展望台からの展望

宗箇山（三滝山）からの展望

火山からの展望

武田山からの展望